

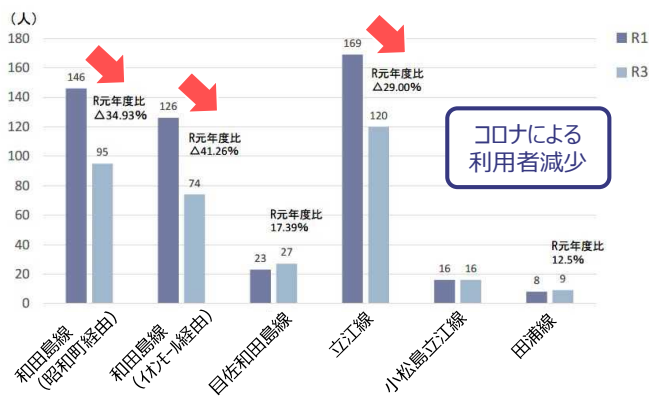
～ 小松島市地域公共交通計画における検討方針について ～

業務実施体制

①業務の実施方針

- ✓ 路線バスの運営に係る**コストを縮減**します。
- ✓ 現在の利用者の継続利用、新たな利用者（通学者等）獲得につながる**移動サービスを確保**します。

小松島市協定路線 路線別乗降者数(平日)



令和2年度小松島市協定路線収支赤字額の推移



本業務の ミッション

現在のサービスを確保しつつ、コストを縮減に向けた
効率的な地域公共交通網の形成を実現する計画の策定

業務実施体制

②実施体制

- ✓ 前計画策定時の管理技術者や徳島大学卒業者等、**地域に精通した技術者を配置**します。
- ✓ 専門性（公共交通、交通計画）を有する技術者を配置し、**専門的な知見から計画策定に係る各種検討に的確かつ迅速に対応可能な体制を構築**するとともに、大阪支社による**バックアップ体制を確保**します。

担当	氏名	所属	資格	経験年・地域精通度など
管理技術者	富田 洋史	インフラ技術研究所 次世代交通推進室 室長	技術士（総合監理部門 道路） 技術士（建設部門 道路） 技術士（建設部門 都市及び地方計画）	交通計画27年 前計画 管理技術者
照査技術者	秋山 道彦	四国支店 地域交通計画室 室長	技術士（総合監理部門 道路） 技術士（建設部門 道路） 技術士（建設部門 都市及び地方計画）	交通計画 28年
担当技術者	菊池 哲也	四国支店 地域交通計画室 室長補佐	技術士（総合監理部門 道路） 技術士（建設部門 道路） 技術士（建設部門 都市及び地方計画）	交通計画 28年
	小路 泰広	インフラ技術研究所 次世代交通推進室 上席研究員	技術士（総合監理部門 道路） 技術士（建設部門 道路）	交通計画 33年
	大谷 育樹	インフラ技術研究所 次世代交通推進室 主任	技術士（建設部門 道路）	交通計画 10年 徳島大学 院卒
	大西 洋揮	四国支店 地域交通計画室 主任		交通計画 8年 徳島大学 院卒
	細川 光太郎	四国支店 地域交通計画室 室員		交通計画 31年

実施主体

インフラ技術研究所 次世代交通推進室

四国支店 地域交通計画室

照査・助言

大阪支社 技術審査室

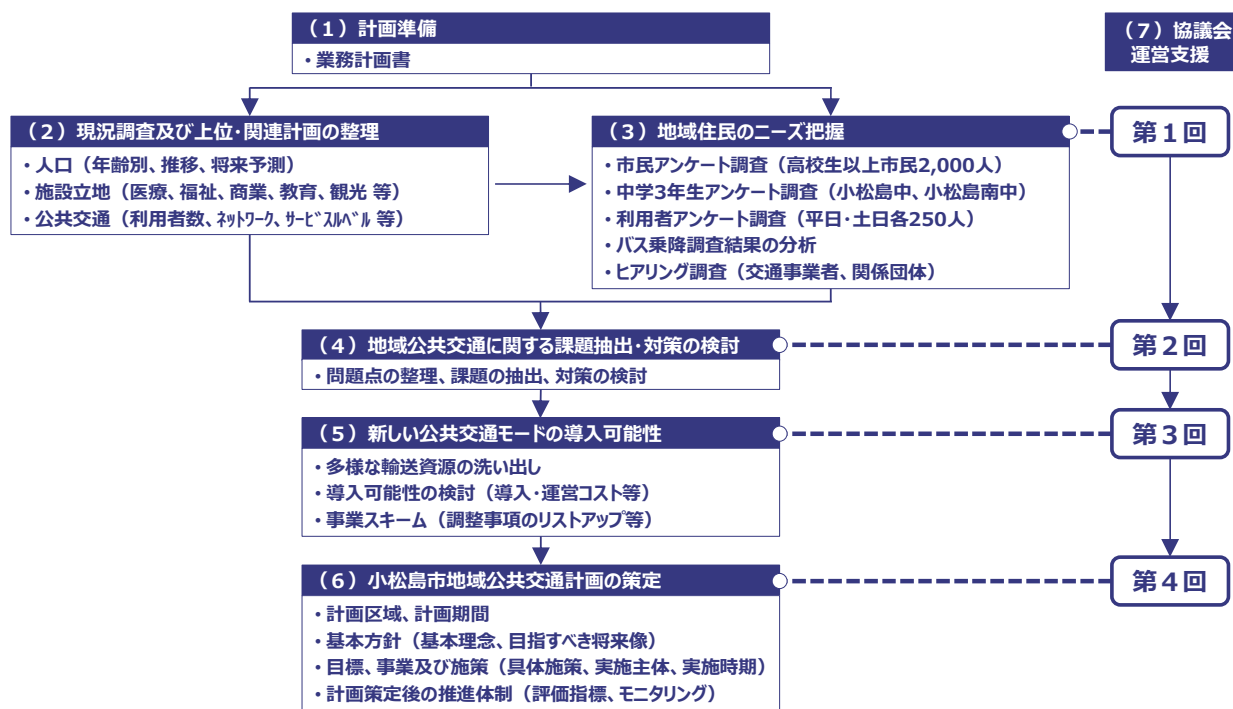
バックアップ

大阪支社 地域交通計画室

業務実施体制

③実施フロー

- ✓ 現況調査、上位・関連計画の整理をもとに、**小松島市の現状や公共交通が将来目指すべき方向性**を整理します。
- ✓ 各種ニーズ調査をもとに、**公共交通に対する需要や改善点**等を明らかにします。
- ✓ 現況調査結果、ニーズ調査結果等をもとに、**公共交通が対応すべき課題**を明らかにするとともに、新しい公共交通モードの導入も視野に、**課題への対応策**を検討します。
- ✓ 上記の検討結果について、**法定の記載事項に従い「小松島市地域公共交通計画」としてとりまとめ**ます。
- ✓ 本業務の遂行、計画策定にあたり、会議資料や議事録の作成等、**円滑な協議会運営**に努めます。



業務実施体制

④工程表

- ✓ **協議会への報告をコントロール**とし、協議会への報告から逆算した工程管理を行います。
- ✓ **業務着手時の現地確認**により、肌感覚で現地の状況を把握することで、**机上の検討結果が地域の実情と乖離しないように留意**します。
- ✓ (3)ニーズ把握に関する調査は**学生の夏休みや中学3年生の進路がある程度かたまるタイミングに配慮**して実施します。

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
(1)計画準備	■										★:現地確認
(2)現況調査及び上位・関連計画の整理	反映	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
(3)地域住民のニーズ把握		■	■	■	■	■	■	■	■	■	現在の利用者 これからの利用者
市民アンケート		準備	■	■	■	■	■	■	■	■	
中学3年生アンケート		準備	■	■	■	■	■	■	■	■	進路がある程度かたまる タイミングに配慮
公共交通利用者アンケート		準備	■	■	■	■	■	■	■	■	夏休みに留意
(4)地域公共交通に関する課題抽出・対策の検討			■	■	■	■	■	■	■	■	
(5)新しい公共交通モードの導入可能性				■	■	■	■	■	■	■	
(6)小松島市地域公共交通計画の策定					■	■	■	■	■	■	
(7)協議会運営支援		①			②		③		④		

現状報告 結果報告 素案報告 計画報告

1. 計画準備

- ✓ 業務全体の実施計画（実施内容・方針、工程計画、実施体制等）を示した**業務計画書を作成**します。
- ✓ アンケート調査の実施にあたり、調査実施計画書を作成の上、**調査の方法や設問内容について計画**を立案します。
- ✓ **上位計画や関連計画、これまでの運行状況など**、関連する資料を収集します。
- ✓ **現地踏査**を行い、実際に、バスの車両、運行の状況、乗客数、バス停、待合環境などを確認します。

2. 現況調査及び上位・関連計画の整理

検討のポイント

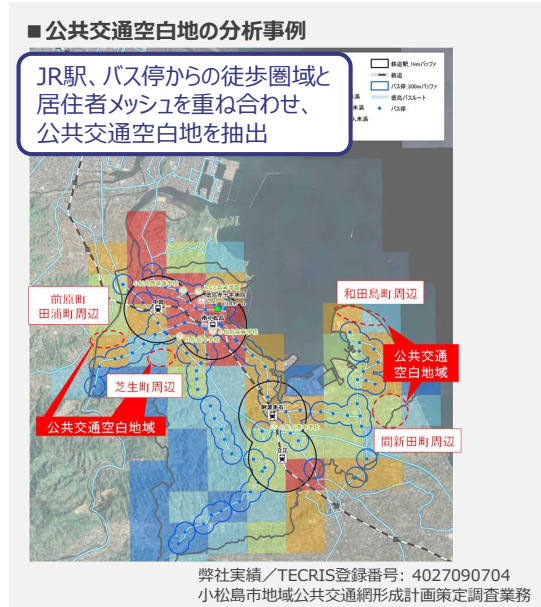
- **公共交通空白地等、手当てが必要なエリア・影響人口を明確化**
- **上位・関連計画から、小松島市の公共交通が将来目指すべき方向性を多角的に整理**

①小松島市の現況

- ✓ 人口分布や少子高齢化の状況、将来人口予測のほか、通勤通学流動、教育・医療・福祉・観光等の主要な施設の分布状況、運転免許の保有状況、市の財政状況等、**社会現況について網羅的に整理**します。
- ✓ 公共交通ネットワーク、運行本数等の運行状況、乗継状況、道路交通状況など、**交通現況について整理**します。
- ✓ 整理した社会現況と交通現況の重ね合わせにより、公共交通空白地等、重点的な対応が必要なエリアや影響を受ける人口を明確化し、**公共交通の課題抽出**に活用します。

②上位・関連計画

- ✓ 小松島市（第6次総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画等）や徳島県（徳島県地域公共交通計画、次世代地域公共交通ビジョン等）の**交通・まちづくりに関連する計画のほか、観光や福祉、子育て等の幅広い関連計画を整理**し、小松島市の公共交通が将来目指すべき方向性を多角的に検討します。



3. 地域住民のニーズ把握

検討のポイント

- **日常的な移動実態や路線バスの利用実態の把握による潜在・顕在需要の明確化**
- **QRコードを用いたWEB回答の併用による回収率の向上と協議会コストの削減**
- **多様な関係者へのヒアリングにより様々な移動手段の総動員やMaaS導入の可能性を模索**

①ニーズの把握

- ✓ 3つの調査により、多角的な視点から地域住民の移動ニーズを把握し、現在、日常的に公共交通を利用している**利用者の顕在需要**、利用していない**未利用者の潜在需要**を明らかにします。
- ✓ 調査結果をもとに、**地域公共交通に関する課題を抽出**するとともに、利用者の継続利用や、新たな利用者獲得のために必要な**施策を検討**の際の**基礎資料として活用**します。
- ✓ 加えて、調査票は住民ニーズを収集するツールとしてだけでなく、**公共交通の利用啓発につなげるツール（モビリティマネジメント）**として活用します。
- ✓ 具体には、地域公共交通の危機的状況（利用者減少、運転手不足等による存続危機）や、公共交通の利用に係る費用及び自動車の維持費用について試算・比較し情報提供することで、**過度な自動車利用から公共交通利用へと転換を促**します。
- ✓ また、**QRコードを用いたWEB回答**を併用することで、**回収率UPと協議会コスト（返信コスト）の削減**に努めます。
- ✓ なお、調査実施には、郵便局や教育委員会等との調整が必要となるため、準備が必要な項目や期日等を整理したスケジュール管理表を作成し、**調査準備から調査開始まで遅滞なく作業を進められるようサポート**します。

■QRコードを用いたWEBアンケートの実施事例

＜ご回答にあたっての注意事項＞

- 1 回答は、回答者ご本人様をご記入ください。ご本人様をご記入するのが難しい場合には、他の方に代筆していただいても結構です。
- 2 回答欄のあてはまる選択肢の番号に○をご記入ください。

質問	回答
通勤・通学する頻度を教えてください。（1つを選択）	1. 週に5日以上 ② 週に3〜4日 3. 週に1〜2日 4. 月に数日 5. 年に数回

3 「町丁目名」、「その他（ ）」など、選択肢の番号以外の内容をお答えいただく質問があります。その場合は、下記いずれかの方法で、**令和4年1月**調査票に同封する依頼文にQRコードを記載

① 本調査票にご記入いただき、同封の返封袋（切手を貼る必要はありません）。

② 右のQRコードよりWEB回答画面にアクセスし、**WEB回答画面**よりご回答ください。

※なるべく正確な情報を得るため、お一人様1回限りの回答をお願いします。

・WEB回答画面

Q19. どうなれば路線バスが利用しやすくなる（利用したくなる）と思いますか。*複数回答可

- バス停でバスがいつ来るのか表示される ホームページやアプリでバスがいつ来るのかわかる
- バス停の近くに駐輪場がある バス停に屋根やベンチがあって快適に待てる
- 複数のバス会社や鉄道との乗継がわかりやすくなる
- 複数のバス会社共通で定額乗り放題や乗継割引がある バスの利用方法がわかりやすくなる
- 特になし わからない
- その他

QRコードをスマホ等で読み取り、WEB回答画面へ誘導

弊社実績/TECRIS登録番号: 4046155268
令和3年度葛飾区循環バス路線等導入検討委託

3. 地域住民のニーズ把握

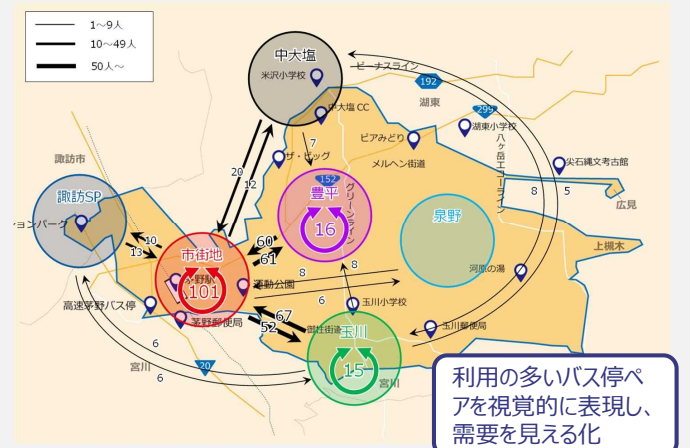
調査名	主なターゲット	調査により把握する主な内容	計画策定における活用イメージ
市民アンケート調査	公共交通未利用者※	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を利用しない理由 公共交通に求めるサービスレベル 	<ul style="list-style-type: none"> 潜在需要の掘り起こしによる新たな利用者の獲得につながる施策の検討
中学3年生アンケート調査	次年度からの公共交通利用者	<ul style="list-style-type: none"> 予定する進路 次年度から予定する移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> 高確率で見込まれる新規需要を取りこぼさないための施策の検討
利用者アンケート調査	公共交通利用者	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの利用実態 老人等バス無料優待制度の利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の継続利用に向けた施策の検討 優待制度の今後のあり方に関する検討

※利用者／未利用者、それぞれに対する設問により、公共交通の利用状況に応じたニーズを把握するが、現状の公共交通利用状況を踏まえ、回答者の多くは「公共交通未利用者」となることを想定。

②バス乗降調査

- ✓ 利用の多い（需要の多い）バス停やバス停ペアを把握し、**サービスレベルを維持・向上すべき区間を明らかにすることで**、ネットワーク再編検討の基礎資料として活用します。
- ✓ 調査結果は、**視覚的に表現することで需要を「見える化」**し、ネットワーク再編に向け、関係者間で議論・情報共有する際に意思疎通がスムーズに図れるように工夫します。

■バス乗降調査結果を「見える化」した事例



弊社実績 / TECRIS登録番号: 4044859614 令和2年度 新地域公共交通実証運行支援委託業務

3. 地域住民のニーズ把握

③ヒアリング調査

- ✓ 交通事業者へのヒアリング調査により、公共交通の利用実態や利用者の維持・獲得に向けた課題等について、現場の肌感覚での意見を収集することで、**①ニーズの把握の内容を補足**します。
- ✓ 加えて、運転手不足や車両老朽化等、**運行面からみた地域公共交通存続に向けた課題を把握**することで、実現可能なネットワーク再編を検討します。
- ✓ その他、社会福祉協議会や商業・観光施設等へのヒアリング調査により、送迎バス等の導入（遊休時間を地域の移動手段として活用）や、公共交通サービスとの連携（公共交通利用者に対するクーポン発行等）による外出促進策に対する協力意向等、**地域のあらゆる移動手段の総動員やMaaS導入の可能性について模索**します。

想定するヒアリング対象 (案)		ヒアリング内容 (案)
交通事業者	徳島バス、タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用実態（利用者の声等） 運行面から感じる課題 等
福祉関係	小松島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 運行実態（定時定路線／予約制） 遊休時間における活用可能性 等
医療関係	徳島 赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> 通院実態（出発地、時間帯） 送迎車両の導入意向 等
商業関係	小松島 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の属性、公共交通に期待する内容 交通事業との連携意向 等
観光関係	小松島 観光案内所	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者の属性、公共交通に期待する内容 交通事業との連携意向 等
教育関係	小松島市 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 児童の通学実態 スクールバス導入に対する意向 等

■商工会議所を通じてMaaSサービスへと展開させた事例

お得意サービス展開中の市内4店舗

AIオンデマンドタクシーの利用とセットになったクーポン券の配信（交通とその他サービスの連携）

アプリで予約する

運行時間 午前9時から 予約は午後6時まで

料金 3km未満 3km～5km未満 500円 5km以上 700円

支払方法 クレジットカード または現金※

予約方法 アプリで 電話予約

アプリインストール特典 2回分を乗車無料

紹介者割引 両者に1回乗車無料

グループ予約優待割引 2人目以降100円割引

高齢者割引 1乗車ごとに100円割引

弊社実績 / TECRIS登録番号: 4044859614 令和2年度 新地域公共交通実証運行支援委託業務

4. 地域公共交通に関する課題抽出・対策の検討

検討のポイント

- 公共交通の維持・利用促進、運行面、採算面等から多面的に課題を抽出
- 対策の検討は、ニーズ調査結果等をもとに、エリア・路線軸に分けて実施
- 老人等バス無料優待制度の見直しによる収支構造の改善可能性について検討

①問題点の整理

- ✓ 現状調査結果から明らかにした地域特性と、ニーズ調査から得られた地域の移動需要の対比により、地域公共交通に関する問題点を整理します。

②課題の抽出

- ✓ 整理した問題点に対し、**地域住民のニーズ**や、小学校再編等の小松島市を取り巻く**都市・交通環境の変化**、立地適正化計画等の**まちづくりとの連携**等の視点を踏まえ、**地域公共交通が対応すべき課題を抽出**します。
- ✓ **課題の抽出**においては、持続可能な地域公共交通の構築を念頭に、公共交通の維持・利用促進に関する視点や、**運行面、採算面等から多面的に検討**します。

③対策の検討

- ✓ 公共交通の利用状況や移動に対するニーズ、年齢別人口や施設の分布状況、現状の公共交通ネットワーク、上位・関連計画における考え方等をもとにエリア分けをした上で、**エリア・路線軸ごとに対策の検討**を行います。
- ✓ 具体には、「**利用実績・ニーズともに高いエリア・路線軸**」については、**現在のネットワーク継続の可能性を検討**する一方で、**その他のエリア・路線軸**については、新しい公共交通モードの導入等、**抜本的なネットワーク再編を検討**します。
- ✓ 加えて、収支構造の改善に向け、**老人等バス無料優待制度の見直しについても検討**します。
- ✓ 具体には、利用者アンケート調査で支払い可能額等を確認の上、**有料化した場合に想定される利用者数・収入を試算**し、老人等バス無料優待制度の見直しによる収支構造の改善可能性について検討します。

5. 新しい公共交通モードの導入可能性

検討のポイント

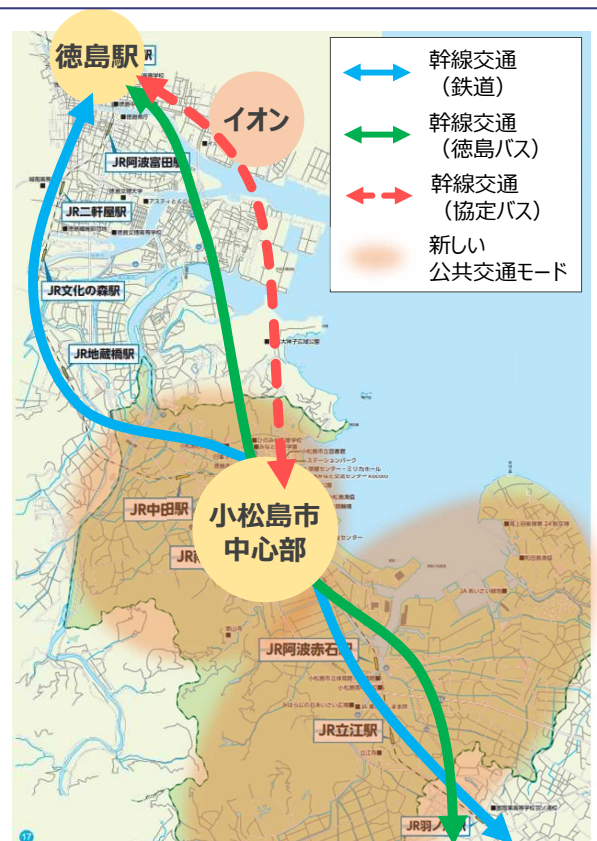
- コスト削減を実現した持続可能な公共交通ネットワーク構築のため、**新しい公共交通モードの導入による、協定路線バスの抜本的な見直しを検討**
- **新しい公共交通モードの本格導入に向けた事業スキームの検討を実施**

①路線再編の方向性

- ✓ 安定的に多くの学生の利用が見込まれる**朝・夕の登下校の時間帯は定時定路線バスの運行**、高齢者の通院や買物等、目的地や利用時間がまばらとなる**日中の時間帯は、新しい公共交通モードの導入を検討**します。
- ✓ なお、**徳島市方面へのアクセスについては、鉄道、幹線交通（徳島バス）との接続（乗継）を基本**に、多くの需要が見込まれるイオンモール徳島へのアクセスについては、ニーズ調査の結果をもとに維持・見直しについて判断します。
- ✓ ただし、**交通機関同士の乗継に対する抵抗**は大きいものと推察されるため、乗継距離等の身体的な負担の軽減や、**わかりやすい案内、乗継運賃等の対応策についてもあわせて検討**します。

～新しい交通モードの検討～

- ・ デマンド交通（需要に応じた予約制の交通手段）の導入検討
- ・ 多様な輸送資源（スクールバス、福祉バスなど）の活用検討
- ・ 貨客混載（荷物と人）の検討
- ・ 老人等バス無料優待証の見直し検討



5. 新しい公共交通モードの導入可能性

② 導入可能性の検討

- ✓ 導入可能性を検討するにあたり、都市規模等を参考にしながら、**全国における新しい公共交通モードの導入事例や社会実験等の事例を収集**し、導入目的や課題等についてカルテ形式で整理します。
- ✓ その上で、各エリア・路線軸の現状や特性を踏まえながら、**課題解決への貢献、運行コストの改善（導入費用及び維持管理費用）等の視点から評価**を行い、新しい公共交通モードの導入可能性を検討します。
- ✓ 具体的には、**効率的に需要を満たせるデマンド交通の導入**を念頭に、**運行ノウハウを有する事業者に対し、導入に係る費用や維持管理費用をヒアリング**し、収支の改善状況や費用面からみた導入可能性について検討します。
- ✓ 加えて、本格導入に向け、運輸支局への申請書類の作成、地元交通事業者との共存に向けた運行計画の調整等、調整が必要となる関係者・調整事項のリストアップ等、**事業実施に向けた具体的な事業スキームについても検討**します。

■ 本格導入を見据えた事業採算性の検討事例

今後の方向性の検討 ② 有料運行とした場合

- 今年度実証事業の平均需要（平林別）に、有料での利用意向と
- 料金を安くする程多くの利用者が見込めるが、**100円で運行した**
- 提供資料（「株」創生再生）をもとにランニングコストを設定し、**試算全日運行では年間約200〜300万円の赤字**となる見込み。

アンケートで利用意向を確認し
収支・利用者数について試算

● 1日あたり利用見込み（休日）

料金	利用者数	収入
50円	72.4	3,619
100円	63.1	6,309
200円	14.7	2,937
300円	1.6	495
400円	0.7	300

料金	利用者数	収入
50円	18.3	915
100円	16.0	1,596
200円	3.7	743
300円	0.4	125
400円	0.2	76

● ランニングコスト（1台あたり） ※初期費用（導入経費）は含まない。また、人件費は運転手のみ。（乗客の人件費は含まない）

項目	年間（120日）のみ運行した場合	日あたり
1日あたり費用	1,008,000	8,400
年間固定費	275,000	2,292
合計	1,283,000	10,692

項目	年間（365日）運行した場合	日あたり
1日あたり費用	3,066,000	8,400
年間固定費	275,000	753
合計	3,341,000	9,153

- <1日あたりの費用>
- ・電気代、消耗品、メンテナンス費、修理費、運転手人件費
- <年間固定費>
- ・保険料、車検代、自動車税

● 年間の収支見込み

料金	利用者数	収入	収支
50円	8,686	434,283	848,717
100円	7,571	757,073	-525,927
200円	1,762	352,462	-930,538

料金	利用者数	収入	収支
50円	13,190	659,494	-2,681,506
100円	11,497	1,149,676	-2,191,324
200円	2,676	535,241	-2,805,759

● 車検費用

料金	利用者数	便数（1日）	便数（1時間）
50円	220名	180名	28便
100円	110名	90名	14便
200円	55名	45名	7便

料金	利用者数	便数（1日）	便数（1時間）
50円	13,190	10,552	164便
100円	11,497	9,598	146便
200円	2,676	2,141	32便

- <算出条件等>
- ・休日のみ運行で赤字となるように休日利用者数を設定
- ・その上で、全日運行で赤字となるように平日利用者数を設定
- ・便数は1便（1台）の乗車定員を8名として利用者数をもとに設定
- ・1時間あたり便数は、10時〜18時までの8時間運行して設定

弊社実績／TECRIS登録番号：4042133844 新潟潟港万代島にぎわいみなと創造事業委託

■ 新たな公共交通モードの導入に向けた実証実験の事例

デマンド交通の導入において、AI予約システムの有用性を検証

予約する

弊社実績／TECRIS登録番号：4044859614 令和2年度 新地域公共交通実証運行支援委託業務

6. 小松島市地域公共交通計画の策定

検討のポイント

- **法定の記載事項に従い、持続可能な交通体系構築に向けた実効性のある計画を策定**
- **前計画の考え方、上位関連計画との整合、社会情勢の変化等に留意してとりまとめ**
- **計画策定後のモニタリング・推進体制等も含めて検討し、事業推進を後押し**

① 計画の策定方針

- ✓ **前計画における考え方**を踏まえつつ、徳島県地域公共交通計画等の**上位関連計画との整合**、小学校再編や四国横断自動車道の整備、デジタル技術の革新等の**社会情勢の変化**を捉えた計画を策定します。
- ✓ 計画立案にあたり、**計画区域**（小松島市全域）や**計画期間**（5年程度）を明示します。

② 現状・課題の整理

- ✓ これまでに整理した小松島市の現況や上位・関連計画、課題の分析結果等について、検討の流れや要点を押さえてわかりやすくとりまとめます。

③ 基本方針等の検討

- ✓ 問題点や課題の内容、上位関連計画等との整合を考慮した上で、課題解決に向けて地域公共交通が目指すべき将来像を設定するとともに、将来像の実現に向けた取組の指針となる理念や**基本方針**を設定します。
- ✓ その上で、課題の重要度や緊急度を考慮しながら、将来像を実現するための**目標**について、基本方針に従い設定します。
- ✓ 目標の達成に向けた具体事業については、これまでに検討した対策の方向性踏まえるとともに、交通事業者等の関係者とも調整の上、**事業の内容や実施主体、実施時期**も含めてとりまとめます。

④ 計画の推進体制

- ✓ 設定した目標の**評価方法**や**指標**について検討するとともに、**計画策定後の推進体制**等についても整理します。
- ✓ なお、評価方法・指標の設定においては、事業との関連性はもちろんのこと、わかりやすさや評価のしやすさ等も踏まえて、多面的に検討します。

7. 協議会運営支援

検討のポイント

- **検討目的→分析内容→検討結果の因果関係が明確な、わかりやすい・伝わる会議用資料**を作成し、出席者に対して事前にメール送付することで円滑な会議運営を支援
- **市民の合意形成を図るため、パブリックコメントの実施**を提案

①小松島市地域公共交通協議会の運営支援

- ✓ 会議資料は、図表やイラスト、写真などを効果的に活用し、**論点が明確で、直感的に理解できるような、わかりやすい資料作成**に努めます。
- ✓ **市民の合意形成を図るため、「パブリックコメント」の実施**を提案します。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の今後の動向を見据えながら、一堂に会しての開催が難しいと判断された場合には、**webによるテレビ会議システムを活用した開催も視野に入れて体制を整えます。**

	実施時期	内容	内容
第1回協議会	7月頃	計画策定の方針について	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各種調査の実施方針について ✓ 地域公共交通のあり方について（路線の見直し、新たな交通網案の検討の方針について）
第2回協議会	10月頃	調査結果の報告	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各種調査結果の報告 ✓ 地域公共交通のあり方について（路線の見直し、新たな交通網案の検討） ⇒調査結果を踏まえた地域公共交通の方針を提示
第3回協議会	12月頃	地域公共交通計画（素案）について	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域公共交通のあり方について<素案>の報告 ⇒<素案>を提示、パブリックコメントを実施
第4回協議会	2月頃	地域公共交通計画の策定について	<ul style="list-style-type: none"> ✓ パブリックコメント結果の報告 ✓ パブリックコメント結果を踏まえた本計画書（案）及び本計画概要版（案）の報告 ⇒パブコメを踏まえ、本計画書（案）及び本計画概要版（案）を更新

7. 協議会運営支援

■ 図表や写真等を効果的に活用した委員会資料作成

図表や写真を効果的に使用し、伝えたい内容が直感的に伝わるように留意して資料を作成

2. 現行都市計画MPの進捗状況の評価～将来都市構造～

■ 拠点等の設定 ① 都市拠点

a ふれあい拠点
 ● 住居系市街地が連なる七栄地区の市役所周辺に富里中央公園等と一体的に形成を図るものとする。
 ● 富里市の行政・文化の拠点として既存施設の充実を図るとともに、今後の高齢化に対応した福祉機能の誘導を図り、市民の憩いと交流の場として、また市の顔として、緑の多い、質の高い、魅力的な空間づくりを図るものとする。

b にぎわい拠点
 ● 東関東自動車快速富里インターチェンジ周辺地区に形成を図るものとする。
 ● 富里市のにぎわいの核として、既存商業集積地の集積を活かしつつ、新たな商業集積・流通及びレクリエーション等の建物の誘導を図り、広域圏都市と富里自治都市圏との結節点に多くの人が訪れ、交流する、賑わいのある拠点の形成を図るものとする。

① 具体的な事業の実進状況

市立図書館の建設 平成15年度建設 敷地面積：7,431㎡

すこやかセンター（保健センター）の建設 平成28年度建設 延床面積：4,440㎡

こども館施設整備事業 子育て支援、公民館、学童施設等を新築・増築

七栄北新木戸土地地区団地整理事業 大観香公園（H24） 敷地面積：10,547㎡ 整備内容：野方ステータ、トイレ、管理用、広場、遊具

鳥居市の新築などのインフラ整備 大観香公園

② 定量的な評価指標からみた実現状況

ふれあい拠点内の建物 建物用途別 89.4%

にぎわい拠点内の建物 建物用途別 77.5%

③ 社会情勢や住民ニーズを踏まえた今後の必要性

● 図書館や保健センター、公園等の充実が図られてきたが、H27住民意識調査での教育・文化に関する満足度はあまり向上していない。東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う交流人口の増加に期待が高まっていることも踏まえ、観光振興と合わせた文化施設等の機能向上、利用促進を図っていくことが望ましい。

● ふれあい拠点では、市立図書館や保健センター等の建設による機能強化が図られるなど、一定の効果が見られた。一方、福祉センター（簡易マザーズホーム）等の公共施設においては老朽化が進むなど、施設更新が必要なものもあり、人口減少下で財政状況の逼迫が顕著となる中では、既存施設や低コスト利用地の活用等により、多様な機能を効率的に維持することが必要である。

● にぎわい拠点では、インターチェンジ周辺に家電量販店等を中心に商業施設の立地が進んでおり、沿道型の商業サービス拠点として機能強化が図られている。成田市の住宅地にも隣接した地域であることから、市外からの利用も見込んだ拠点としての機能強化を図っていくことが必要である。

弊社実績/TECRIS登録番号：4026821025 富里市都市計画マスタープラン策定業務委託

■ WEBによる委員会開催支援



弊社実績/TECRIS登録番号：4037108120
令和元年度 千葉県道管内湾岸地域道路網検討業務31F4

■ WEB講演会の実施

3. リクワイアメント対応

① 施工段階を見据えたCIMモデルの構築

見据えるべきポイント

- BIM/CIMの活用による設計・施工の連携
- BIM/CIMの活用による設計・施工の連携
- BIM/CIMの活用による設計・施工の連携

② 施工段階を見据えたCIMモデルの構築

見据えるべきポイント

- BIM/CIMの活用による設計・施工の連携
- BIM/CIMの活用による設計・施工の連携
- BIM/CIMの活用による設計・施工の連携

弊社実績/（株）日刊建設通信新聞社が主催するweb講演会「BIM/CIM LIVE」において、「ECI取組み事例紹介」で登壇

8. その他

- ✓ 効率的な地域公共交通網の形成に向け、**ロードマップ**を作成します。
- ✓ ロードマップ作成により、**次年度以降に必要となる各種調整やタスクを明らかに**します。
- ✓ 上記により、短期的に達成すべき目標、中長期的に達成すべき目標を明確にします。